



会長 高橋利光
 幹事 山田正
 会報 鈴木彦太 及川勝永
 後藤益美 森田峯男
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2641回例会 2018. 4. 12 No.39

本日の出席率

・本日の出席率 94.55%

ニコニコボックス

- ・高橋利光会長 国際奉仕委員会のフォーラムに期待。
- ・及川昭宏会員 今日のフォーラムよろしくお願ひします。
- ・鈴木彦太会員 及川昭宏国際奉仕委員長の日頃の活躍を大いにご期待申し上げます。
- ・布施孝之会員 国際奉仕委員会フォーラムに期待。
- ・村上武彦会員 及川昭宏委員長、フォーラムご苦労さんです。
- ・江川元徳会員 春が来た、春が来た、どこに来た！皆さんの心に、皆さんの家に来た。
- ・八谷郁夫会員 国際フォーラムご苦労様です。
- ・菅野幸一郎会員 及川昭宏委員長のフォーラムにご期待いたします。
- ・菅原文之会員 及川昭宏委員長の経験を通じた、国際奉仕フォーラムに期待して。
- ・佐藤静市会員 国際奉仕及川昭宏委員長、フォーラムに期待します。
- ・山田正幹事以下 国際奉仕委員会のフォーラムに期待。
 佐々木崇会員 山田直志会員 佐竹孝行会員
 遠藤光則会員 佐々木源悦会員 岩淵正彦会員
 熊谷敏明会員 布施孝尚会員 小野寺伸浩会員
 富士原裕子会員 武川毅会員 岩淵栄市会員
 杉田広仁会員 佐藤早智子会員 千葉正宏会員
 伊藤幸子会員
 以上、ありがとうございます。

会長要件 高橋利光会長

今週の月曜日、緊急の理事会を行い、長期交換留学生について協議しました。

初めに、アメリカTexas州Bedford市より来日する留学生のための、佐沼ロータリークラブの受け入れ態勢についてお話いたします。

留学生の名前は、Taylorです。Taylorは5月に高校を卒業する18歳の女の子で、8月20日ころに来日します。仙台でオリエンテーションを行ったあと、「引き渡し会」があり、受け入れクラブは迎えに行くことになっています。

当クラブでホストファミリーをしていただける方を探しておりますが、現在のところ見つかっておりません。返事待ちのご家庭は2~3軒ございます。考えられるほぼ全てのロータリアンにお願い致しましたが、芳しくありません。ガバナー事務所に問い合わせたところ、受け入れ高校である佐沼高校から離れていてもかまわない、バスや車でなどで通学する所でもかまわない。また、しっかりした家庭であればロータリアン以外でもかまわない、とのことでした。

事態は、かなり深刻なので、最初のホストファミリーを、登米市国際交流協会の事務局長である、佐々木信一さんに3ヶ月間お願い致しました。佐々木さんの家庭は、国際交流に理解があり、明るくあたたかい雰囲気、大変良いご家庭です。以前に何度もホームステイさせていますし、佐沼高校に通っている女の子のお孫さんいらっしゃいます。

皆様をお願いしたいことは、もう一度ホームステイさせていただけないかを考えていただきたいこと、そして、ロータリアン以外でホストファミリーに最適な方をご紹介いただきたいということです。どうぞよろしくお願いいたします。

次に、当クラブより派遣する留学生についてお話いたします。

留学生は、昨年のクリスマス家族会に来ていただきました。現在佐沼高校2年に在籍する、鎌田暖さんです。何度かお母さんと一緒にお会いして、留学に関して手伝っているところですが、はっきり言って非常に大変です。本人の留学したいという意思は強いのですが、そのための諸手続きについては、かなりうとく、理解していないのが現状です。たびたび、つついてるので遅れているわけではありませんが、引き続ききめ細かなフォローが必要です。

幹事報告 山田正幹事

- ・東北風土マラソン&フェスティバル2018より後援名義使用報告書が届く

各委員会報告

- ・環境保全委員会 (山田直志委員長)
 北方小学校で行いました植樹の行事、校長先生のご配慮で6年生の卒業アルバムに写真を載せて下さいました。皆様にご報告いたします。

フォーラム

- ・国際奉仕委員会 (及川昭宏委員長)
 標準ロータリークラブ定款による国際奉仕の位置づけ奉仕の第四部門である国際奉仕は、書物などを読むことや通信を通じて、更には、他国の人々を助けることを目的としたクラブのあらゆる活動やプロジェクトに協力することを通じて、他国の人々とその文化や慣習、功績、願い、問題に対する認識を培うことによって、国際理解、親善、平和を推進するために、会員が行う活動から成るものである。

国際奉仕の歴史的経緯

初期のロータリーには今日の人道的奉仕活動を主体とした国際奉仕の概念はありませんでした。しかし、第一次大戦中の1917年頃より米国やカナダ、ヨーロッパのロータリークラブが各地の避難民や傷病兵、復員してくる軍人に対するボランティア活動や物資援助を行うなど歴史的背景を受けて、「奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人および地域社会のリーダーの世界的親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進する」という国際奉仕の概念が、1922年に綱領の第6項目として正式に明文化され現在に至っています。

個々のロータリアンの責務

世界で紛争や戦争など有事の際には、国際ロータリーは中立を守る立場にあり、当該国のロータリークラブとロータリアンは、それぞれの国法を遵守しなければならない、これらの国々の間では友情や親睦を築く事は困難になります。つまり世界の恒久的平和の推進を願うロータリーの国際奉仕活動も、有事の際には限界があるという矛盾もはらんでいるのです。

1. 愛国主義にとらわれず、自分が、国際理解と親善と平和を推進するという責務を共に負っているものとみなすべきである。
2. 国家的または人種的優越感によって行動しないようにすべきである。

3. 他国民と強調する共通の基盤を求め、これを育成すべきである。
4. 理想、言論、集会の自由、迫害と侵略からの解放、欠乏と恐怖からの解放を享受できるように、個人の自由を守る法律と秩序を擁護すべきである。
5. どこかが貧困であれば、全体の豊かさを危うくすると認識し、あらゆる国の人々の生活水準を高めようとする行動を支援すべきである。
6. 人類に対する正義の原則を高くかざすべきである。この原則は基本であり、世界的なものでなければならぬと認識すべきである。
7. 国家間の平和を推進しようと常に務め、この理想のためには個人的犠牲を払う覚悟をすべきである。
8. 実践されれば、必ず豊かで充実した人生をもたらす、倫理的・精神的な基本水準が存在すると認識しながら、国際親善の一步として、あらゆる他の人々の信念を理解する心をかき立て、これを実践すべきである。
9. 国家間の関係が緊迫しているところで活動やプログラムを実施する場合には、適切な注意を払うべきである。

世界社会奉仕活動

世界社会奉仕活動とは、英語ではWorld Community Serviceと記され、WCS活動と称されています。国や行政が地域社会のニーズを満たせない発展途上国や開発途上国で、ロータリークラブも資金の制約等で奉仕活動が実践できない場合に、援助を海外の地区やクラブに求め、協力して奉仕活動を行うのが世界社会奉仕活動です。

世界社会奉仕活動の要件は、①プロジェクトが人道的奉仕活動であること、②2ヶ国以上のロータリアンが関与すること、③プロジェクトはこのうちいずれか1ヶ国で実施されることです。

国際レベルの教育及び文化活動

1. ロータリー友情交換
2. 世界ネットワーク活動グループ
3. 国際青少年交換

自然災害や世界的政情不安による危機管理が求められています。

日頃のロータリー活動も含め、特に海外での活動を行う国際奉仕委員会のプロジェクトでは、他のプロジェクトより危機管理が重要であるという認識が必要です。国内外を問わず活動をする場合は危機管理(リスクマネジメント)を行うことによってダメージを最小限にとどめる活動が今後求められると思います。

— 紙面の都合上、一部割愛させていただきました。

第10回理事会議事録 (4月5日分)

協議事項

- (1)お花見移動例会について
 名称を「四クラブ合同夜間移動例会」に変更
 4/19(木) 18:30~ 松島「ホテル大観荘」 参加クラブ 川崎大師RC、西宮RC、余目RC、佐沼RC
- (2)2017-2018年度地区大会について
 4/21(土) ホテルメトロポリタン 会長、幹事会他
 4/22(日) 仙台国際センター 本会議・懇親会
 参加者 33人 バスを手配する。
- (3)その他
 5/12(土) 名取RC創立50周年記念式典について 出席：高橋利光会長、山田正幹事
 5/19(土) 古川RC創立60周年記念式典について 出席：高橋利光会長、小野寺伸浩会計

出席者 (11名)

高橋利光 菅原慶一 山田正 熊谷敏明 及川富男 小野寺伸浩 富士原裕子 及川昭宏 佐藤早智子 千葉正宏 佐藤敬喜 (オブザーバー)